

◆ 大阪電気通信大学 医療福祉工学部医療福祉工学科 教授

新川 拓也 (にいかわ たくや)

○経歴

- 1999年3月 大阪電気通信大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程満期退学
- 同年12月 博士(工学)の学位取得
- 2001年 大阪電気通信大学工学部医療福祉工学科講師、同大医療福祉工学部医療福祉工学科准教授を経て2011年同教授、現在に至る
ESEM Award 等受賞

○専門研究分野：生体計測、福祉情報工学

○所属学会：IEEE、電気学会、電子情報通信学会、日本生体医工学会、日本生活支援工学会等各会員

○講演題目：料理上達のカギ ～計測技術の視点から～

○講演概要：トントン…、朝、包丁の音で目が覚めて、味噌汁の匂いがただよ
う…。トーストの焼ける匂いとコーヒーの香りで目を覚ます方も多い？

家庭によって食生活が異なることは当たり前のことですが、身体に良いものを美味しく頂くことはみんなが望んでいることでしょう。それでは、美味しい料理はどうやって作られるのでしょうか？そのコツは？調理行動を拘束感の少ない技術を用いて計測し、各家庭における料理の特徴を抽出することが私の研究テーマです。家庭において、調理を担当する人はある程度決まっていることが多いのですが、調理者の特徴を抽出することで、その人の癖や習慣を栄養学的に解析することもでき、その料理を食べる家族の栄養管理に結びつけることも可能になります。また、料理上手は包丁上手、でも訓練は大変です。それを簡単に上達させることはできないだろうか…。その答えは意外なアプローチにありました。これらの最新の研究成果を解説致します。